学校教育目標「磨かれた知性　しなやかな心　すこやかな体を持ち　将来を豊かに生きる力を身に付けた生徒を育成する」

時中だより

令和５年の漢字
結

学校だよりコーナー

時津町立時津中学校
令和５年度学校だより２号
令和５年４月１２日発行
文責：校長・副校長

令和５年度入学式が終わりました！！

誓いのことば

歓迎のことば

４月７日(金）森達也副町長様、相川節子教育長様、そして保護者の皆様にご臨席いただき、令和５年度入学式を挙行しました。今年度は１７１名の新入生を迎え、これで全校生徒５２７名が勢揃いしました。

式の中では、新入生代表の濵口怜さんが「私たち新入生一同。時津中学校の生徒としての自覚と責任をもち、これまでの仲間、先輩方、そして先生方と共に、楽しく学ぶことを誓います！」と誓いのことばを堂々と述べました。これに対し、在校生を代表して生徒会長の加藤立梧さんが「当たり前のことを当たり前にすることが基本です。そして、失敗を恐れず、何事にもチャレンジしていきましょう。不安の方が大きいかもしれませんが、心配いりません。私たち、２・３年生がいます！！」と力強く頼もしい歓迎のことばを述べました。

校長式辞では、どのような気持ちで過ごすことが中学校生活を充実し、自分自身の成長につながるかをお話していただきました。

中学校時代は「自分の中のまだ知らない自分」を見つけ、自分を成長させ、自分の中に眠っている可能性を探し当てるための３年間です。みなさんには自分でも分からない「可能性」が密かに隠れています。中学校で頭を鍛え、心を鍛え、体を鍛えるのです。「まだ見ぬ自分の可能性」を探すために次の３つのことを心がけて頑張ってください。

〇自分の夢や希望を見定め、その実現のために毎日の地道な積み重ねを大切にすること。
〇学校生活を明るく楽しく送るために、お互いが思いやりの気持ちをもって接すること。
〇中学校時代の限られた時間を有効に使うこと。

以上３つのことを実践し、毎日の登校が楽しみになる、また、地域の皆様に愛される時津中学校を作っていきましょう。

東井義雄先生の「自分は　自分の　主人公」という詩を用いながらの式辞は、新入生だけではなく、在校生へのメッセージにもなったことと思います。

また、相川教育長様からの祝辞では、中学校生活の中で、４つの力を身に付けてほしいというお話がありました。

〇自分の考えを明確にし、言葉で伝え、相手の考えを心で聞くこと（コミュニケーション能力）。

〇美しい自然や崇高なものに素直に感動する感性をもち、磨くこと（素直さ）。

〇困難に打ち勝つ、やり遂げるたくましさをもつこと（心の強さ）。

〇仲間と支えあい、共に成長しようとする社会性を育てること（非認知能力）。

どれも、社会で生きていくうえでとても大切な能力です。様々な経験を通して、このような能力を高め、社会で生き抜く力を付けてほしいです。

様々な人の期待を胸にこれからの学校生活が始まります。生徒・保護者・教職員・地域の皆様と心を一つに頑張っていきたいと思いますので、保護者・地域の皆様、どうぞよろしくお願い致します。

最後に吹奏楽部が歓迎演奏を行い、リズミカルな音楽と全校生徒のダンスで式場内が盛り上り、温かい歓迎ムードに包まれました。時津中学校のスタートにふさわしい、とても良い入学式でした。